

民意を反映する選挙制度実現  
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年8月29日

第356号 Tel 03-3261-9007  
本号1号 Fax 03-3261-5453

## 民主 衆院で強行可決—比例定数削減法案 許せない民主主義の破壊！ 参院で廃案へ！

民主党は28日、野党各党が採決強行に抗議し退席する中、民主党が提案した選挙制度改革関連法案を強行可決しました。前日の政治倫理・選挙特別委員会での単独採決強行に次ぐ暴挙です。選挙制度という議会制民主主義の土台をなす問題での単独採決というやり方でも、内容の点でも、民主党案—比例定数40の削減・一部連用制を導入し、小選挙区では5減、次々回の選挙に向けてはさらに35議席の削減を行なうという単純小選挙区制に限りなく近づけ、民意を国会から極端に遠ざける法案であり、民意の反映を求める国民世論の当然の要求に反するものです。断じて許されません。

選挙制度をめぐっては、昨年秋以来政党間協議がおこなわれ、現行小選挙区比例代表並立制が民意を阻んでいるという弊害と問題点が一致点となり、抜本的な選挙制度改革が民主党を除く各党から共通の結論としてだされてきました。民主党はこれをふみにじってきました。その背景には消費税増税という反国民的な悪政の強行を「身を切る」と称して「薄め」ようとし、また党内の反発を和らげる目的があり、悪政の言い訳と党内事情の転嫁というおおよそ民主主義とはかけ離れた暴挙の連続です。

それだけに国民の意思を体現した国会内の11野党（日本共産党、自民党、生活が第一、公明党、新党きづな、社民党、みんなの党、大地、たちあがれ日本、新党日本、新党改革）は28日、こぞって「本会議で採決するな」と議長に申し入れていました。

民主党・野田首相に政権担当の資格はなく、不信任、問責に値します。民主党の強行採決に抗議するとともに、参議院での審議をさせず、廃案にするために引き続き奮闘します。

### 11 団体よびかけ

## 8・31 院内集会& 議員要請

**あさって** 8/31(金) **午後 1 時 30 分から**

**衆院第 1 議員会館第 3 会議室**